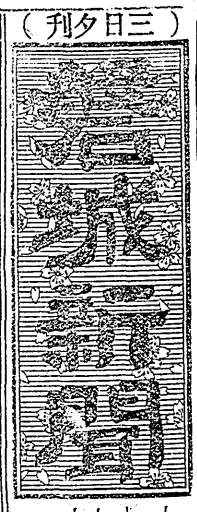
（三日夕刊）



休刊　毎月第三日曜大祭日
定價　一ケ月　一部　二錢　郵税　六十錢　十五錢
廣告料　壹行六十錢　指定廿錢增
發行所　聲城新聞社　福島縣平町田町十六番地　電話五六四番
發行兼編輯人　亜沼龍輔

啓蒙記（其五の一）

福田將夫に文章論を問ひ且つまた磯丸を講ずること

島田忠夫

□

妄言福田將夫が何ら獨自性なく、雅號をすら「フクダマサヲ」などと著名は詩人の名を模すと、鼻もちのならぬ奴であることは先きにも記した。例へば予の文中からも、しば〳〵無斷でまんちやくする事も述べた。現に、二十二日夕刊の分にも「大人氣ないが」などと予の真似をしてゐる。「口語歌に對する異論なら何時でも快くうける」なども真似てゐる。しかしこれは「米穀の一俵位なら何時でもかついで見せる」と痩せこけた十三四の鼻たれ小僧が眼をむいて力んでゝのと一般である。到底よく荷い得る代ものではない。まだ「カビの生へた萬葉鰯の歌人」などと書いても、萬葉集の何たるかをけ・・明し得る人間ではない。相手が萬葉集といふから真似るだけであつて、彼が一つとして自身の「イデオロギー」を持つてゐるのではない。謂はば「うつむ」である。「あうむがへし」である。彼れが口ぎたなく「拾八世紀に流行せし語詞を驅使して」などと予の文章を難じても、拾八世紀の文學などどのやうな文章詞句を用ひたかと研究した譯ではない。もうてんなどと云ふ詞句も、どこから見つけ出したのか。北海道生れの君といへども、アイヌ語を使ふのではあるまい。否、アイヌ語にもこんな詞句は得ない。それで拾八世紀の云々もあらまい。「まさに拾八世紀のすれものである」などとも云ふ。これ又癡言でもあるのか。

予の文章の如き、文語体混りなのが「拾八世紀」だとは云へまい。それならばいるあえず、文法違ひ許り多い君の文章を何と呼ぶのか。昔にさかのぼる程文法などは正當な踏むのが常道だから、すくなくも昔の文とはない。しかし近代と云へども小學校を始め中等學校、高等學校でも、文法を八ケ間敷く言はない所はない。こゝに於て尠くも妄者福田の文章は未來永劫の國ゆ・・びんがの棲む、遠天の文章かも知れぬ。二十二日夕刊の分でも「意義をつまびかに島田君になすりつけかず踏み越ゆる如き日▲三碧　機を捕ふること敏なれば勞少くて効多き日▲四綠　喜憂交々至り變動常なき日　内外注意すべし▲五黄　運氣浮動定まらず迷ふ時は魔の手に乘易し▲六白　勞を惜まず苦をも厭はず努力すれば努ある日▲七赤　自ら抑へても我意の募りて失敗に陷り易き日▲八白　意外の不利に陷る事あり總ての口入事注意▲九紫　凶より吉に次第發展し行く日口舌失せ物注意

白馬の雪
芳醇無比
松本德一吟釀
平電話七五二

講談　幕末奇傑高山彦九郎

中西洋々作
布施長春畫

（57）

腐れ儒者（五）

『たゝ、これは柴田殿よな源水も、流石に驚いて問ひかへしました

『ようこそ、おいでなされた。が、して貴殿はこの高山氏を御存じかな』

『うむ　如何にも！』

答へ乍ら主計は源水の側に座を占めました

『實は、この高山氏は拙者が『連れ』参りましたものぢや』

『はゝた、御貴殿かな』

『如何にも』

『左樣でござつたか』

源水も今更に驚いてしまひました

『遅蒔ながら、御引合せ申さう、あれは上野の産にて、それなる骨れうれうの士、高山彦九郎正之と申さるゝ御人』

『奥の書院に廻りました』

源水、主計のあとについて奥の書院に廻りました

墨の目も新しく、靜かな書院にはゆかしい香の煙りがゆら〳〵とたつてをります。ちよつと見れば贅澤にすぎて暮しのようにも見えますが、それだけに、よけい心憎いまでに床しい人のたしなみも見ゐて、彦九郎は云ひ知れぬ親しみを感じました

『さ、ずつと寛がれい』

茶などを乍に源水は話しかけました

『お見受け申すところ、まだ若いようぢやが今年たの御代とは外形が似てゐがいくつになられる』

『ほゝお、それはた若い』

源水は驚いたように云ひました

『その若さで、あの議論、柴田氏、貴殿は偉いものを』

『は……』如何にも拙者當年四十三になり申すがこのようで、その實質は雲泥の相異があるやのぢ。

招くものに雲泥の差あり、いはんや招かるゝものに於てをやである。すべて論を構へるには外形にこだはら・・ずして、その實質――論議の根本となるべきものを察する必要がある。この點をよく心得て置くように――

源水のこの言葉に、弟子たちは始めて得心がいつたようでした

『それではもう時であるから今日の論議はこれで終らにする。今後も高山氏とも〳〵尊王の道の達成に勵まれるように』

源水は、かういひ置いて何ぢや、師としてよりは友として交つてござらんなさいぬか』

『いや、お言葉までもござらぬ高山氏、今後は宜しくお願ひ申しますぞ』

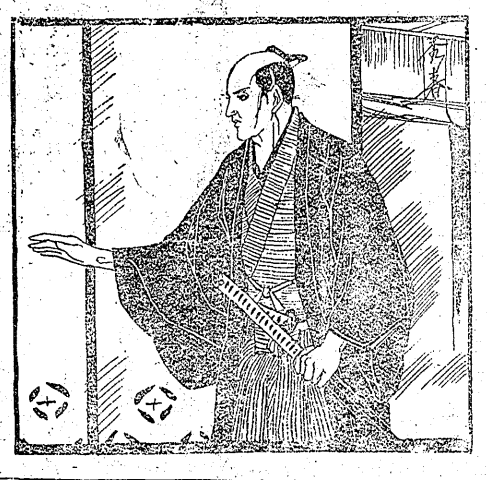
『七七歳にござります』

『ほゝお、それはた若い』

源水は驚いたように云ひました

『その若さで、あの議論、柴田氏、貴殿は偉いものを見出されましたな』

『は……』如何にも拙者當年四十三になり申すがこの



『遅れいります』

彦九郎は叮嚀に辭儀をしました

源水は、眉顔となつて云ひました

『は、ありがたき仕合せ、それでは暫しの邪魔をいたしまする』

源水、主計のあとにつゞいて奥の書院に廻りました

墨の目も新しく、靜かな書院にはゆかしい香の煙りがゆら〳〵とたつてをります。ちよつと見れば贅澤にすぎて暮しのようにも見えますが、それだけに、よけい心憎いまでに床しい人のたしなみも見ゐて、彦九郎は云ひ知れぬ親しみを感じました

『さ、ずつと寛がれい』

茶などを乍に源水は話しかけました

『お見受け申すところ、まだ若いようぢやが今年たの御代とは外形が似てゐがいくつになられる』

廣告

平町田町
高久病院
電話五一三番

平町南町
上田醫院
電話一二九番

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

明日……一二月新月
吉の凶……曆六曆四日

一白　十分と見込みて爲せし事も外れ勝ちなる日▲黒　足元にある寶に気付

内科診療
消化器病科　呼吸器病科
小兒内科　一般内科
入院應需（自炊ノ便アリ）
平町鼠坂
渡邊内科醫院
電話一六一番

美味にして強壮の効著大
血をふやし肉を肥やす
スポン
スツポン飴　一圓
スツポン酒　二圓
スツポンヘモクロビン錠　三圓
平町五丁目角
山野邊藥局

一圓十錢のフランス
マルツー、ブランク
マルソー、ルージ
生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二
西村屋藥舗
たばなし　三番

夜診
胃腸　内科　十二指腸病　虫病
専門部　内科
梅毒　淋病　婦人病　皮膚病
専門部　外科
松村胃腸病科醫院
（平南町電話一七〇番）
診療時間

特賣!!
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
春同　優等賞受領
花鹽屋
醸造元
山崎合名會社
電話一〇番

品質本位
蜂ブドー酒
佛國の葡萄
佛國ボルドー産の最高原料を以て最新の學理と優秀の技術の下に醸られた美味と滋養の蜂ブドー酒は人體になくてならぬ榮養素の總てを兼ねたものであります……
元賣發　東京本町
元造醸　東京淺草
近藤醸造
神谷醸造
利兵衛商店
傳兵衛本店

内科、小兒科
花柳病科
入院藤沼
藤沼醫院
平町弗庵町
電話平國五〇七番

○ツ石炭の特色
目方の正確
○ツの石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります
◎石炭は只單に一俵いくらと申しても目方が正確でなければ實に安いとは申されません
◎當店は目方の正確を期する爲めに
正味十貫目ヲ單位トシ一俵六十錢ト定めました
品質の優良
○ツの石炭は磐城炭礦、最上等の品で品質は常に一定して居ります
大量生産ですからお安く賣る點が出來る强味を持つて居ります
○ツの石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手數にても御知らせ下さい。御氣に召す樣に致しますから
電話二二三七番へ
平驛前
○ツ阿部石炭商店

サロンのバーには
何時も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理の御献立をして御座います
ドーゾ御試食を……
田町松月堂隣り
美味で評判のきもちよい
サロン
電話三五二番
男、女給仕人數名募集

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり葉書なり戴けば社員が伺ひして詳しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話六〇三番　五四一番

佐藤幹事長出馬に決し
第二區戰線俄かに緊張
本日午後政友本部で確定
選擧戰愈々本舞臺

相、双を根據に出馬を傳へられた佐本孫右衛門氏が事業の關係から出馬斷念の止むなきに至つたので双葉、相馬兩郡政友部會では緊急幹部會を開き協議の上前縣會議長鈴木重郎治並に縣會議員大田秋之助の兩氏に出馬交渉をなしたが、兩氏とも固辭して受けず此まゝで推移するに於ては候補者を出さない結果となるので本部並に縣支部共打合せをなした上支部幹事長佐藤庄太郎氏に出馬を要求したるも只だ佐藤幹事長は石城出身の關係から累を木村候補に及ぼすことの絶無を期し難く豫め木村派の諒解を受ける必要ありとて相馬二郡代表小野貞吉、郡豊太郎、志賀儀三郎、渡邊忠次郎の四氏は二日來平大村幹部會を開き協議の上前縣會議員鈴木重郎治並に縣會議員大田秋之助の兩氏に出馬意を傳ひたるに木村派代表も何等の異議をさしはさまざるを爲め右代表は二日夜直ちに上京本部に交渉の結果三日午後一時に至り佐藤氏立候補確定を發表したり松本氏の辭退から一時無競爭の樂觀説さい傳へられた第三區は佐藤氏の立候補により茲に花々しき激戰地帶と化するものの如く頓に緊張の氣に充ちて來た

甲乙二班に分れて
木村派の論陣
全郡下各町に亘つて
積極政策を主唱

政友派公認木村清治氏の劇部隊は來る廿日より一齊に論陣を張り大に政友派の積極政策を高唱し不景氣の總元締たる現内閣打破と銳鋒を思ふざま眞つ向ふに振りかざし大いに選擧民の判斷に訴へ難く豫め木村派の諒解を受ける必要ありとて相馬二郡代表小野貞吉、郡豊太郎、志賀儀三郎、渡邊忠次郎の四氏は二日來平大村幹部會を開き協議の上前縣會議長鈴木重郎治並に縣會議員大田秋之助の兩氏に出馬交渉をなしたが、兩氏とも固辭して受けず此まゝで推移するに於ては候補者を出さない結果となるので本部並に縣支部共打合せをなした上支部幹事長佐藤庄太郎氏に出馬を要求したるも只だ佐藤幹事長は石城出身の關係から累を木村候補に及ぼすことの絶無を期し難く豫め木村派の諒解を受ける必要ありとて相馬二郡代表小野貞吉、郡豊太郎、志賀儀三郎、渡邊忠次郎の四氏は二日來平大村幹部會を開き協議の上前縣會議長鈴木重郎治並に縣會議員大田秋之助の兩氏に出馬意を傳ひたるに木村派代表も何等の異議をさしはさまざるを爲め右代表は二日夜直ちに上京本部に交渉の結果三日午後一時に至り佐藤氏立候補確定を發表したり松本氏の辭退から一時無競爭の樂觀説さい傳へられた第三區は佐藤氏の立候補により茲に花々しき激戰地帶と化するものの如く頓に緊張の氣に充ちて來た

古川傳一郎氏の卒ゆる遊説部隊は來る廿日より一齊に論陣を張り大に政友派の積極政策を高唱し不景氣の總元締たる現内閣打破と銳鋒を思ふざま眞つ向ふに振りかざし大いに選擧民の判斷に訴へ難く豫め木村派の諒解を受ける必要ありとて相馬二郡代表小野貞吉、郡豊太郎、志賀儀三郎、渡邊忠次郎の四氏は二日來平大村幹部會を開き協議の上前縣會議長鈴木重郎治並に縣會議員大田秋之助の兩氏に出馬交渉をなしたが、兩氏とも固辭して受けず此まゝで推移するに於ては候補者を出さない結果となるので本部並に縣支部共打合せをなした上支部幹事長佐藤庄太郎氏に出馬を要求したるも只だ佐藤幹事長は石城出身の關係から累を木村候補に及ぼすことの絶無を期し難く豫め木村派の諒解を受ける必要ありとて相馬二郡代表小野貞吉、郡豊太郎、志賀儀三郎、渡邊忠次郎の四氏は二日來平大村幹部會を開き協議の上前縣會議長鈴木重郎治並に縣會議員大田秋之助の兩氏に出馬意を傳ひたるに木村派代表も何等の異議をさしはさまざるを爲め右代表は二日夜直ちに上京本部に交渉の結果三日午後一時に至り佐藤氏立候補確定を發表したり松本氏の辭退から一時無競爭の樂觀説さい傳へられた第三區は佐藤氏の立候補により茲に花々しき激戰地帶と化するものの如く頓に緊張の氣に充ちて來た

日割　甲班　乙班
五日　鹿島校
同　飯野校
六日　高久校　夏井校
同　豊間校　江名校
七日　泉校　玉川校
同　小名濱校　磐崎校
八日　赤井校　平窪校
同　小川校　好間校
九日　内郷　植田
同　湯本三函座
同　平聚樂館
十日　永戸校　合戸校
同　澤渡　中三坂
十一日　草野校　神谷校
同　大野校　四倉校
十二日　大浦校
同　川前校

石城民政部會から
比佐氏の依頼狀
邦家の爲に議政壇上へ
清廉純潔が看板

石城民政黨公認候補比佐昌平氏は別項の如き一立候補に就ては一なる政見の一端を披歴した挨拶狀を一般に配布したが更らに部會長若松美三、幹事長萩原義雄氏の名を以て左の如き依頼狀を發送した

（前略）比佐昌平君は識見人格共に卓越し專心政治を生命として終始するの人に有之殊に政界革新を高唱せられつゝある今日君の如き飽く迄思想堅實清廉純潔の士を候補者とするは吾人の本懷措く能はざる處而かも同君は濱口總裁を初め領袖諸君の信任厚く中央政界に重きをなし少壯政治家として大いに將來を嘱望せられ民政黨として將に政界革新の先驅者として欠く可らざる人材に有之候就ては貴下の深厚なる御同情と甚大なる御援助とを賜はり當選の榮を荷はしめ三度議政壇上に送り邦家の爲め渾身の努力を致さしめられ候樣切望の至りに堪へず候

先は右推薦旁々御依頼迄如此に御座候　敬具

昭和五年二月

立憲民政黨石城部會
會長　若松美三
幹事長　萩原義雄

石城鮮魚商
役員の改選終る

石城郡鮮魚商共濟組合では此の程總會を開き役員改選の結果會長に佐藤作平氏副會長に鈴木又六氏が再選した

二人組んで
綿屋に亂入
顔面に大負傷

石城郡泉村木炭商森田木一（三五）は乾分關東一事高木成好（三二）と共に一日午後六時頃平町中町二綿商遠藤忠三（四二）方に乗り込み忽ち大亂闘となり高木森田の兩名投げつけられガラス戸を破つて放々の体で逃げ出したが遠藤も兩名のため顔面に全治二週間を要する重傷を負つた急報に接し平署員が駆付け双方を取押へ目下事情取調中である

石城米良質
平支所の調査

平米穀檢査支所調査によれば今年の成算農業倉庫納入米は三千二百十九俵で一般成算米は四千七百八十三俵で合計八千二俵であるが今年は去年に比較すると等外米（選外）が非常に多く其の額は四百五十俵に及んでゐるが其の主なる原因は水害天候より來たものであるが最近市場に出廻はるものは品質比較的良質である之は特米も盡き其の上稻正月となつたので手持の優良品を手放する樣子窺はれつつあるのであらうと

農業講習會
渡邊村農會で

渡邊村農會では今三日から農業智識向上と農村振起の目的で石城郡農會並に其他郡下に於ける專門家を招き連續的農業講習會を同村小學校で開催した

違反を見付ければ
一件十圓の禮金
東京朝日新聞社では
平町に座談會

東京朝日新聞社の主催で四日午後六時から平町住吉屋本店に選擧淨化を目的に石城郡の各政黨並に各炭礦代表者の出席を求め座談會を催す事となつたが決定せる出席者は

（政友會）井上茂作氏（民政黨）萩原義雄氏（入山炭礦）吉田宗雄氏外坑夫二名（磐城炭礦）濱崎善三郎氏外坑夫二名

而して一方石城民政黨では選擧界淨化の目的を以て賣收其の他醜惡なる違反事件を摘發申告したものに對し一件十圓宛の謝金を贈ることとなつたが政友派木村派とも大いに讃し專ら選擧界淨化の目的に向つて邁進することとなつた

立候補の挨拶
比佐昌平

1 解散に際し鄕黨諸君に訴ふ

全國民待望の中に第五十七議會は解散されました。ドーも然なる人爲的多數の現勢を打破し、眞正に國民の總意を反映せる議會に據つて強力にその政策を遂行する必要上、この議會は解散されたのであります。

こゝに私は同志諸君の御推薦により重ねて立候補致しまするに就て常に最も敬愛する我が鄕黨の諸君の御厚に、卒直に所信を訴へ、一層の御懇情と御援助とを冀ふ次第であります。

2 慨嘆すべき政界の近狀

顧ふに普通選擧施行以後の政治は一部階級に基礎を置いた制限選擧時代とは異り、國民大衆を基礎として打ち建てられたものであり、眞に普選の面目を發揮すべき時代に當りて小生自らは、何卒卓越せる識見もなく、經驗なかつた醜怪事ばかりまして、その因つて來る所は畢竟政治を以て利權の手段とする低級な職業的政治犧牲とし、如何なる難行苦行をも辭せざる覺悟を以て進む決心であることを誓ひ致します。

4 不景氣對策と金解禁

現在の不景氣は、政友會積年の放漫政策に禍されて亂脈の限りを盡した我國經濟界が、遂に國難の二字を叫ばるゝに到つた結果であります。この難局を打開して、景氣を挽回する事は刻下の最大急務であります。

今や、我國財政經濟史上劃期的大事業である金解禁は、財界に些の波動なく極めて順調に斷行され、世界經濟市場に對等の地位を保つ得ることになりましたのは、國民として御同慶に堪へない次第であります。小生はこれが實効を擧ぐるは愈々し及ひ是が向上を圖ることにあるのであります。

3 政界廉清と小生の覺悟

今こそ政界を廉清し、政治をして正道に復歸せしめ積年の放漫政策に禍されて亂脈の限りを盡した我國經濟界が、遂に國難の二字を叫ばるゝに到つた結果であります。この難局を打開して、景氣を挽回する事は刻下の最大急務であります。

5 小生の政見と立候補の目的

小生の政見は、吾が黨がこゝに謹んで冀ふ次第であります。

二伸、尚、政策の詳細に就ては演説會に於て申上げ存じますから、事新しくは申述べませんがその歸着する所を簡明に申しますれば、國民として御同情と甚大なる御援助とを賜はり當選の榮を荷はしめ三度議政壇上に送り物として、深く深く感謝するものであります。小生は畢竟政治を以て利權の手段とする低級な職業的政治犧牲とし、如何なる難行苦行をも辭せざる覺悟を以て進む決心であることを誓ひ致します。

4 不景氣對策と金解禁

現在の不景氣は、政友會積年の放漫政策に禍されて亂脈の限りを盡した我國經濟界が、遂に國難の二字を叫ばるゝに到つた結果であります。この難局を打開して、景氣を挽回する事は刻下の最大急務であります。

今や、我國財政經濟史上劃期的大事業である金解禁は、財界に些の波動なく極めて順調に斷行され、世界經濟市場に對等の地位を保つ得ることになりましたのは、國民として御同慶に堪へない次第であります。小生はこれが實効を擧ぐるは愈々し及ひ是が向上を圖ることにあるのであります。

3 政界廉清と小生の覺悟

今こそ政界を廉清し、政治をして正道に復歸せしめ積年の放漫政策に禍されて亂脈の限りを盡した我國經濟界が、遂に國難の二字を叫ばるゝに到つた結果であります。この難局を打開して、景氣を挽回する事は刻下の最大急務であります。

4 不景氣對策と金解禁

現在の不景氣は、政友會積年の放漫政策に禍されて亂脈の限りを盡した我國經濟界が、遂に國難の二字を叫ばるゝに到つた結果であります。この難局を打開して、景氣を挽回する事は刻下の最大急務であります。

今や、我國財政經濟史上劃期的大事業である金解禁は、財界に些の波動なく極めて順調に斷行され、世界經濟市場に對等の地位を保つ得ることになりましたのは、國民として御同慶に堪へない次第であります。小生はこれが實効を擧ぐるは愈々し及ひ是が向上を圖ることにあるのであります。

3 政界廉清と小生の覺悟

今こそ政界を廉清し、政治をして正道に復歸せしめ積年の放漫政策に禍されて亂脈の限りを盡した我國經濟界が、遂に國難の二字を叫ばるゝに到つた結果であります。この難局を打開して、景氣を挽回する事は刻下の最大急務であります。

4 不景氣對策と金解禁

現在の不景氣は、政友會積年の放漫政策に禍されて亂脈の限りを盡した我國經濟界が、遂に國難の二字を叫ばるゝに到つた結果であります。この難局を打開して、景氣を挽回する事は刻下の最大急務であります。

今や、我國財政經濟史上劃期的大事業である金解禁は、財界に些の波動なく極めて順調に斷行され、世界經濟市場に對等の地位を保つ得ることになりましたのは、國民として御同慶に堪へない次第であります。小生はこれが實効を擧ぐるは愈々し及ひ是が向上を圖ることにあるのであります。

石城卓球大會
山森選手再び優勝

石城郡第二回OB卓球選手權大會は既報の如く二日午後一時より平町常盤銀行樓上に開き定刻山森選手優勝カップの返還式あつて直ちに競技に移り左の如く山森選手再び優勝の榮冠を得て午後五時盛會裡に散會した

△優勝山森△一等山田△二等猪狩（以上）

團体事務所
四日落成移轉

總工費三千七百餘圓を投じて修築中だつた石城郡各種團体事務所もいよ〳〵落成したので四日落成式を擧行し直ちに元郡會議室の事務を開き午後來平、平、内郷、植田の三個所に於て政談演説會を開くことゝなつた

木村候補
應援
石城青年同盟
各所に言論戰

石城郡に於ける唯一の青年政治團体である石城青年同盟では一日午後一時から草野村公會堂に於て總會を開き協議の結果今回の總選

私と磐城新聞
敢て立場を鮮明したい

願みれば、私が磐城新聞に入社したのは去る大正十三年三月一日でありました、爾來星霜滿六ケ年淺學非才なれども憚らず編輯長の要席を汚がし兎も角大過なきを得ましたことは、是れ偏へに先輩各位の御指導と讀者諸賢の御鞭撻による賜として私は常に感激措く能はざるものがあるのであります。

故に專ら自重自戒以て各位の信愛に報ゆることの無き樣、公私とも隨分心して世に處したつもりでありましたが、何ぞ知らん、天は皮肉な賽を振つて此の弱小な私に科するに刑事々件の被告たらしめたのであります、茲に於て私は事件の結果如何に俱ゝ迄でもなく敢て自己の不德の責めを痛感し事件突發同時に退社の意志を表明したのでありますが其事の未だ採許されずして今日に至りましたことは實に慚愧汗顔の至りに耐ない次第であります。

さてそれ靜かに顧みるとき私は益々自愛の念禁じ難く如何にしても此の儘を編輯長としての重席に依然たることは耐ね難き良心の苦痛でありますので茲に斷然編輯責任者たる職分を辭退いたしました、然れども在社滿六ケ年の歴史を顧み更らに經營者遠沼副社長に對する過去の恩故關係と更らに將來指導誘液を受けねばならぬ私としては今、俄かに磐城新聞と全く縁を斷つこと能はざる事情がありますので編輯責任の職分は辭退いたしましたけれども一個の磐城新聞同人としての私は引き續き社務の一部に携はることの事情を御諒承願ひまするやう茲に微衷を表し敢て私の立場を鮮明した次第であります、何卒御寛怒あらんことを乞ふ。

昭和五年二月三日

坂本浩

比佐候補の
應援演説
高田次官特派

石城民政黨では比佐候補應援辯士の特派について本部に交渉中であつたが農務省から移轉することゝなつた次官高田耘平氏は來る七日午後來平、平、内郷、植田の三個所に於て政談演説會を開くことゝなつた

振られ男の亂暴
相方を殺して了ふと
鎌田遊廓の騒ぎ

石城郡平町番匠町松田與八（三二）は去る二日午後八時頃の鎌田遊廓小泉樓に登樓し娼妓綠を相方に遊興してゐたが綠が與八の思ふ樣にならぬのが氣に喰はぬとて與八押られて拘留取調べの上六、七寸の短刀を振り廻し綠りを突き殺さうとする

倉田氏社葬
平町有志が上京

磐城炭礦株式會社專務取締役倉田龜吉氏は昨報の如く去る三日一日長逝し明四日東京々橋區明石河岸の倉田邸で社葬により告別式を行ふ筈であるが平町よりは左の諸氏會葬の爲め三日午後二時十分平發で上京した

高岡唯一郎、縣議鈴木辰三郎、七十七銀行平支店長山田勇太郎、本社副社長遠沼龍輔（以上）

當會社專務取締役倉田龜吉儀病氣の處一月三十一日午前八時死去仕候此段謹告仕候
追而二月四日午前十一時より正午迄東京京橋區明石河岸倉田邸に於て社葬により告別式相營み申可候
昭和五年二月一日
磐城炭礦株式會社
礦業所

毛糸編物講習
生活改善は衣服から
消費節約も衣服から
發育盛りの小供には
毛糸編物が第一
夜間輕便文化器の
編物を無料講習致して
居ます、どうぞ
御遠慮なく御出で下さい
町田町　藤田女學校隣
ハシモトヤ糸店

入院隨意（自炊の便あり）
X光線科
外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一一九

内科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋疾　市原三二男
皮膚病
平町田町本通
市原醫院
（入院隨時）電話一一四番

愈々御待兼の
關東浪曲二大王來演
浪花亭綾太郎師
東家樂鷹師
特別出演者
桃中軒小雲右門師
明四日初日午後四時開場
後援　聚樂館
綾鷹會一同